

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

♡ことばの力 ♡からだの力 ♡こころの力

園長室だより



城南学園幼稚園

園長 太田友子

平成29年1月10日

明けましておめでとうございます。



新たな年を迎えられ、お慶び
申し上げます。

今年の十二支は酉。酉の由来は、「果実が極限まで熟した状態」を表すと言われています。また、酉(とり)は「取り込む」につながり、運気も取り込めるとも言われています。成長著しい子どもたちにぴったりです。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



さて、三学期は、今年度の「まとめ」であるとともに、次への「準備」として節目になる重要な学期です。幼ければ幼いほど、「少しずつ」「繰り返す」時間を要します。意図的・計画的に教育する所以です。主な行事は生活発表会となりますが、これまでの園生活の延長線上で、子どもたちの表現力や協同する姿などが発揮できたらと願っています。乞うご期待！

子育てのポイント：「普段づかい」のしつけ

普段の生活の中で繰り返し行うことで、子どもたちは多くのことを学び取っていきます。想像以上に大人の行為を模倣しているのが子どもです。扉の閉め方、



靴の脱ぎ方、食事の仕方などなど、大人になってもなかなか修正できずに恥ずかしい思いをすることがあります。「普段づかい」の行為を見直して見ることも大切ですね。

幼稚園の先生が気になる「最近の子ども」

「勤続10年以上のベテランの幼稚園の先生方に聞いて見ました！」という情報誌から、本園の子どもたちにも共通する項目についてご紹介します。

すぐに「疲れた！」

遠足などで疲れて歩けないという姿が気になります。子どもの成長に必要な 歩く・走る・跳ぶなどの運動を日常の生活でできる機会が大切ですね。本園では、こけて顔を打つ怪我が増えたので、腕の力を使う運動を取り入れたり、足をすらずに歩かせたり、またいだりする機会を増やしています。



失敗が「嫌！」

大人の顔色を見て動く、自由遊びになると遊び方が分からない、失敗を恐れる、不安が強自信がないなどの姿が気になります。子どもが興味のある遊びを存分にできる時間や場をつくるようにしています。お家で「だめ」という禁止の言葉を連発していないでしょうか。オンとオフができる環境が必要です。

汚れるから「嫌！」

泥遊びが苦手な姿が気になります。本園でも絵の具を塗りたぐったりすることに抵抗を感じる子がいます。やがては存分に楽しむ姿が見られるようになるのですが、これらの経験は幼稚園だからこそできることかもしれませんね。以上、気になる姿を一部ご紹介しましたが、その反対に、けんかをして仲直りできる素直な子どもたちが多いことはすばらしいと思います。「折り合う」力が着実に伸びています。